

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 生産振興課  
 担当名: 花き・果樹・特産・水産担当  
 内線: 4146 (単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業	
N20	茶業研究所施設管理事業	一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	根拠法令	なし		針路	12 儲かる農林業の推進	SDGsゴール 9	
				分野施策	1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsターゲット 9-1, 9-2, 9-3, 9-4	
<p>1 事業の概要</p> <p>建築年数が50年以上経過した茶業研究所について、設備・機器等の修繕・更新を行い、県民や職員・来場者が継続して安全に使用できるようにする。</p> <p>ア 機械・設備修繕 △2,807千円</p> <p>イ 機械・設備整備 △198千円</p>		<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 機械・設備修繕 3,125千円 茶どころ橋補修設計の実施及び故障・破損した機械・施設に対する修繕を行う。</p> <p>イ 機械・設備整備 10,670千円 小型中揉機の更新、ドラム式萎凋機等の導入</p> <p>(2) 事業計画 令和5年度 茶どころ橋補修設計、小型中揉機の更新、萎凋製茶機の導入</p> <p>(3) 事業効果 茶業研究所の施設が安全かつ継続的に利用でき、生産者への技術指導や質の高い研究が維持される。また、狭山茶振興の拠点施設としての役割を担っている。 生産者への技術指導 令和元年 述べ510人 令和2年 述べ110人 令和3年 述べ380人</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 茶どころ橋修繕設計延期による減額</p> <p>イ 執行留保分の減額</p> <p>ウ 入札差金による減額</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>							
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地域活性化事業債の元利償還金の30%を後年度、基準財政需要額に算入</p>							
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×2人=19,000千円</p>							
<p>予算額</p>		財源内訳				一般財源	補正後の予算額
決定額	△3,005	県債					10,790
現計額	13,795					△5	795

## 事業内訳書

事業名	茶業研究所施設管理事業		
単位事業名	機械・設備修繕	予算額	△ 2,807千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 農林水産業債	△3,000	—	茶業研究所施設整備事業債 △3,000千円
一般財源	193	—	
合計	△2,807	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△43	—	執行留保分の減額 △43千円
委託料	△2,764	—	茶どころ橋修繕設計延期による減額 △2,764
合計	△2,807	—	

単位事業名	機械・設備整備	予算額	△ 198千円
-------	---------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△198	—	
合計	△198	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	△198	—	入札差金による減
合計	△198	—	